

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会 (第25期・第6回)

議事要旨

- 日時：令和4年10月14日（金）13:00～14:32
- 会場：Zoom 遠隔会議（ホスト場所は慶應義塾大学理工学部情報工学科藤代研究室）
- 出席（12名，五十音順，敬称略）：跡見 順子，伊藤 貴之，大林 茂，行場 次朗，越塚 誠一，小山田 耕二，下條 真司，高橋 桂子，田中 覚，萩原 一郎，藤代 一成，明和 政子

議事内容

- (1) 前回（第25期・第2回）議事録[資料25-6-01]の確認
 - 承認された。
- (2) カーボンニュートラル活動への分科会参加 [資料 25-6-04-1/2/3]
 - 萩原委員長から学術会議の活動俯瞰図，伊藤委員の評価コメントについて紹介があった。
 - 小山田委員から，美馬ツールによる対話的可視化例の概説があった。
 - 美馬ツールを利用した活動の可視化について検討するワークショップを学術会議執行部に対して開催する可能性について議論した。
- (3) 未来の学術振興構想への応募 [資料 25-6-03-1/2/3]
 - ① 萩原委員長から同構想について説明があり，委員から応募を支援する意見が出された。
 - 可視化技術をコアとする研究所設立を希望（大林委員）
 - AI 意思決定による未体験の環境諸問題へのアプローチをテーマに含めるべき（高橋委員）
 - ② 分科会を代表する「可視化技術教育・研究開発研究所の創設」を，下條委員を中心に提出することになった。
 - ③ 各小委員会委員長から小委員会の活動概要報告があった。主な内容は以下のとおり。
 - 視考考支援基盤への深層学習取込みの委員研究開発事例の収集（藤代委員，[資料 25-6-02-1]）
 - 2022 年度人工知能学会全国大会 OS-20 「社会現象と AI と可視化」（伊藤委員，[資料 25-6-02-3]）
 - 文理融合型複雑/ビッグデータの可視化から発展させた思考インフラとしてのデジタル視考（田中委員，[資料 25-6-02-2]）
 - 細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に関するシンポジウムシリーズ（跡見委員，[資料 25-6-02-4]）
 - ④ 各小委員会からも独自のテーマで独立に意向表明を行うことになった。
- (4) 今期の見解の提出 [資料 25-6-05]
 - 萩原委員長から今期も提出の意向が示され，小委員会から議論を開始し，その後分科会として連携可能性も含め，適切な提出法を決めることになった。

資料リスト

- 資料25-6-00：開催通知
- 資料25-6-01：第2回議事録
- 資料25-6-02-01：藤代小委員会資料
- 資料25-6-02-02：田中小委員会資料
- 資料25-6-02-03：伊藤小委員会資料
- 資料25-6-02-04：跡見小委員会資料
- 資料25-3-01：学術振興構想メモ
- 資料25-3-02：学術振興構想image
- 資料25-3-03：未来の学術振興構想/可視化
- 資料25-6-04-1：CN俯瞰図とHPデザイン
- 資料25-6-04-2：可視化分科会CN_220419
- 資料25-6-04-3：CN活動状況
- 資料25-6-05：意思の表出の申出書例